

保護者の皆様

佛教大学教育後援会  
会長 土方 了彦

## 2020 年度教育懇談会(秋学期)の開催について

残暑の候 保護者の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より佛教大学教育振興と教育後援会の発展に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、教育後援会の中心的な活動として、大学と家庭との相互連絡の場として大学と教育後援会の共催により毎年開催しております「教育懇談会」につきまして、本年度も各地で開催する予定をしておりましたが、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、春学期に続き秋学期につきましても対面での開催を中止することいたしました。毎回ご参加を楽しみにされている方には、本決定をいたしましたことご理解賜りますようお願いいたします。

なお、開催に代わり、大学の現状や取組みについてご理解いただくとともに、お子様の修学の一助としていただければと、大学より報告いただく予定であった内容を冊子にまとめたものをお届けするとともに、個別相談をご希望の方には WEB による相談受付を行うこといたしました。詳細は本冊子にてご確認ください。

新型コロナウイルス感染症が収束し、対面での教育懇談会を開催の折には、多くの保護者の皆様にご参加いただけることを願っております。

### 目次

- ・教育後援会長挨拶…………… |
- ・副学長 兼 学生支援機構長 西川利文先生より…………… 2~3
- ・学生支援課より…………… 4~11
- ・進路就職課より…………… | 2~19
- ・個別相談の申込みについて…………… 20

## With コロナ下での本学の教育・学生支援について

副学長(学生支援機構長・教育推進機構長)

西川 利文

2020年1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、本学でも春学期の授業を急遽、対面から遠隔授業へと変更しました。大学側の準備不足もあって、当初4月20日からの開始を予定していたものが、5月11日になってしまいました。この間、LMS(学習支援システム)がB-net learningからGoogle Classroomに変更になり、学生諸君および担当教員に多大な負担をかけてしまいました。また授業が始まってからも、学生も教員も、すべての授業が遠隔という初体験の事態で、多くの戸惑いがありました。そのような中でも、学生諸君の学習の支援を行うため「遠隔授業サポートセンター」を立ち上げるなど、学生・教員に対する遠隔授業の支援体制を整えて、何とか春学期を乗り切ることができたかと思えます。

さて、すべての構成員が手探りでやってきた春学期の授業ですが、この経験から得られた成果も多くありました。例えば、遠隔ゆえに普段の授業では出席が難しいような学生も積極的に授業に参加するようになったり、一方ではPCの画面を見続けることで疲労感が増したり、長短さまざまな現象が現れております。これはほんの一端ですが、学生・教員双方から寄せられた遠隔授業の長所・短所を分析して、秋学期以降の授業にも活かしていきたいと考えています。現時点(8月下旬)では、秋学期は対面授業が主となる予定ですが、大人数の科目をはじめ、科目の性格によって遠隔授業で行う科目もあります。技術面はもちろんですが、学生も教員も安心して授業が行えるよう、特に対面授業では万全の感染拡大防止策を講じながら、授業運営にあたっていきたいと考えています。

ところで、遠隔授業になった影響で、学生諸君には急遽PC環境の整備等をお願いせざるを得ない状況になりました。そのため本学では、緊急支援金として一律5万円の支給を行いました。また家計急変の学生への対応として、国の緊急奨学金と並んで、本学では教職員互助会からの寄付を受けて本学独自の緊急奨学金を設けました。さらに教育後援会からは、通常の育英奨学金を増強する形で支援を受けました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大でどれほどの影響が出るか予測できませんが、少しでも多くの本学学生が勉学を継続できるよう、学内外の方々の経済的な支援もいただきながら、学生に対する支援を行ってまいります。

キャンパスにつきましては、前年度末より学生の学内立ち入りを全面的に禁止してまいりました。ただし遠隔授業が行われ授業等に関する情報も必要だと判断し、6月より知の拠点である図書館について、まず一部の利用を可能としました。その後、十分な対策を取りつつ徐々

に入構規制を緩和し、8 月には春学期授業の一部科目について対面授業を行うようになりました。

キャンパスに学生がいないというのは、かなり異常な状態で、早く全面的に学生の入構を認めたいのですが、7 月後半からの第 2 波ともいえる感染拡大状況を踏まえると、学生の入構についてより慎重にならざるを得ないことも確かです。本学をはじめとする京都の大学は、府県境界をまたいで通学してくる学生が多くおります。従いまして京都ばかりではなく、近隣の府県の状況も見ながらの判断になるかと思えます。

しかし、これまで一度も直接顔を合わせたことのない 1 年生には、早く大学生としての自覚を持ってもらう教育を行っていかねばなりません。現在、9 月に入りましたら、通常春学期に行っている知恩院への祖山参拝をはじめ、大学生としての心構えを持ってもらう企画を考えております。

また、これまでとは大きく様変わりした就職活動を行っている 4 年生には、その不安を少しでも払拭できるような支援を、進路就職課が中心となって行って参ります。さらに実習関係では、受け入れ施設・学校の関係で十分に行えない状況になっております。これは全国的な状況で、国の方でも代替措置を認めておりますが、本学においても当該の学部・学科で代替の授業内容を検討・実施していただき、実習と同等の効果が得られる措置を行っていただいております。

最後に、学生諸君にとっては秋学期の最大イベントである学園祭（鷹陵祭）は、3密を避けるという観点から、今年度はオンラインでの実施となります。これも初の経験で、どのような形になるか期待をしますが、学生本来のキャンパスライフを楽しむ一環として、充実したものになるよう願っております。

「新しい生活様式」が求められる昨今ですが、その中であっても、学生がキャンパス内で学生生活を謳歌できる、本来の活気あふれる佛教大学になるよう、引き続きさまざまな策を講じていきたいと考えています。保護者の皆さまにおかれましても、ご支援をいただけますようお願い申し上げます。



# 学生支援課からのお知らせ



## 1、学年暦(秋学期)について

秋学期のスケジュールです。

学生の皆さんは、このスケジュールに基づき学修を進めていきます。

- 秋学期オリエンテーション 9月14日(月) ~ 9月19日(土)
- 秋学期授業期間 9月21日(月・祝) ~ 1月29日(金)
- 秋学期定期試験期間 2月4日(木) ~ 2月10日(水)
- 卒業・修了証書授与式 3月18日(木)

※ 授業日確保のため、9月21日、11月23日は通常授業日です。

## 2、授業について

### 【対面授業】

#### ◆授業時間割

講時	1	2		3	4	5	6
時間	9:00 ~10:30	10:40 ~12:10	昼休み	12:50 ~14:20	14:30 ~16:00	16:10 ~17:40	17:50 ~19:20

#### ◆対面授業には、..

大教室での講義や少人数によるゼミ演習など、授業の特性に応じて様々な形態があります。

### 【遠隔授業】 ※2020年度春学期、Google Classroom 等を活用して実施

#### 1. オンデマンド型授業

##### ①課題提示型

授業で用いる講義資料を教材として、課題提出等による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換などを行う授業です。

##### ②映像配信型

講義動画やナレーション付き講義資料を配信し、課題提出等による理解度確認や質疑応答、学生同士の意見交換などを行う授業です。

#### 2. 同時双方向型授業

会議システム(GoogleMeet・Zoom)を活用し、リアルタイムで配信する講義や双方向での議論を行う授業です。

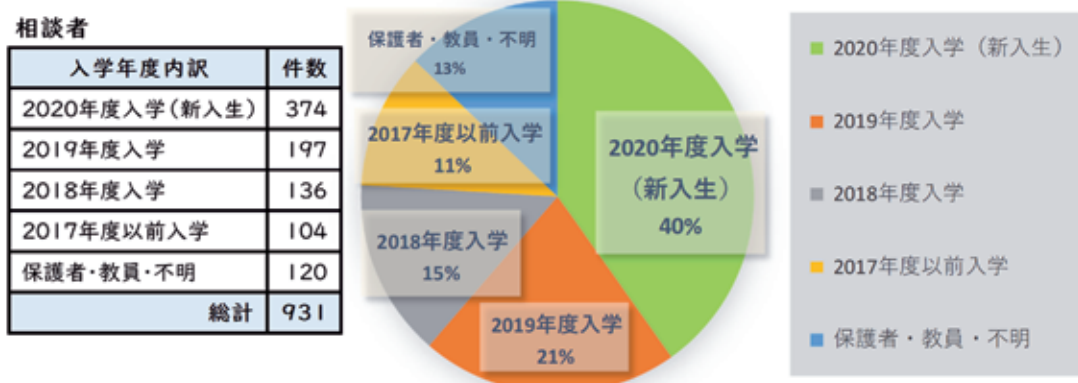
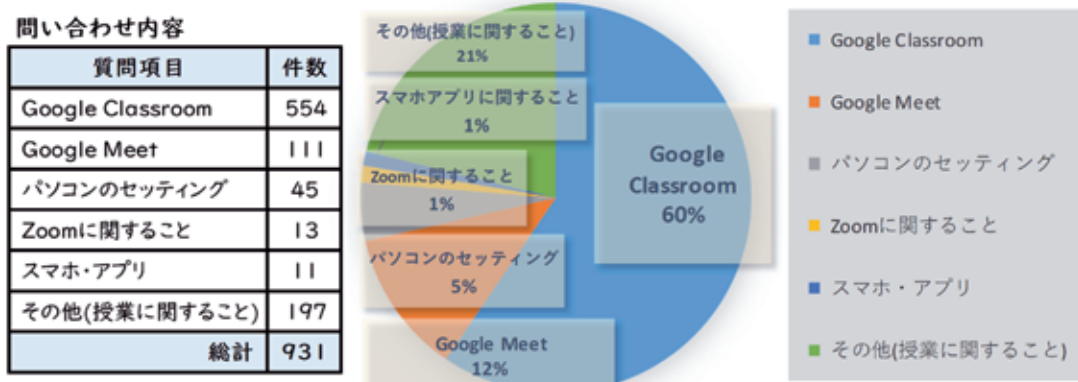
### 【ハイブリッド授業(対面授業+遠隔授業)の場合】 2020年度秋学期実施予定

キャンパスでの対面授業と、「Google Classroom」等を活用した遠隔授業を併用して行います(詳細は学生ポータルサイト(B-net)でお知らせします)。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、遠隔授業のみに切り替える場合があります。

～～初めての遠隔授業に対する支援、「遠隔授業サポートセンター」を開設～～

2020年度春学期は、遠隔授業の実施に伴い「遠隔授業サポートセンター」を開設いたしました。開設期間に対応した件数と、主な問い合わせ内容は、以下のとおりです。



遠隔授業サポートセンターへの問い合わせ内容は、春学期に初めて利用した Google Classroom の使用方法が最多でした。しかしながら、実際にはアプリケーションの操作以前に、パソコン自体の操作方法についてのレクチャーも多く、スマホ世代の学生のパソコン離れを実感しました。

(社会で求められるパソコンスキルについて)

これまでの大学生活においても、パソコンの利用場面は、レポート課題や、授業内発表資料の作成といった学習場面で「パソコンの利用機会が多い」状況でしたが、春学期は授業そのものがインターネットを利用した遠隔授業となり、「パソコンの利用が求められる」状況となりました。

また、上記のような学習・研究活動はもちろん、クラブ・サークル活動でも Web 会議ツールを使用したミーティングや活動の実施、就職活動においても、エントリーシートの作成や Web テストに加え、オンライン上での面接など、大学生活におけるパソコン利用の比重が高くなってきております。

学生にとっては、大きな環境の変化で大変な状況ではありますが、社会活動においても、各企業、在宅ワークやオンラインツールの導入などを急速に進めているなかで、仕事とパソコンの利用が直結する職種は幅広く、大学生活のなかで身に付くパソコンスキルは必ず生きてくるものです。

現在、遠隔授業で利用している Google Classroom 等のアプリケーションは、モバイル端末でも対応可能ですが、社会活動でのスキル面において、積極的なパソコンの利用をお奨めいたします。

### 3、経済支援について

秋学期は、以下の経済支援制度および学内奨学金（公募制）の募集を行っております。

既に、学生の皆さんには、学生ポータルサイト（B-net）にて案内しておりますので、希望される場合は、期日までに手続きを行うよう保護者の皆さまからもお声掛けください。

なお、国の高等教育修学支援新制度（授業料減免と給付型奨学金）又は旧給付奨学金制度等との併給はできませんので、ご注意ください。

#### 《経済支援制度①》

名 称	新型コロナウイルス対策緊急奨学金
募集期間	8月20日～9月30日（消印有効）
給付額	授業料相当額の1/2を上限とする
給付対象	・学費の納入が困難な者／通学課程の学部生・大学院生・別科生（休学者を除く） ・ <u>春学期採用者は申請不可（年度内の重複支給不可のため）</u>
申込資格	・最短修業年限（休学期間除く）で卒業・修了が可能で修学意欲がある者 ・在学中の直近3ヶ月以内（申請時より3ヶ月以内）に、新型コロナウイルス感染症の影響による次の事由により、家計が急変し、学費の捻出が著しく困難であると認められる者 ① 学資支弁者の失職（倒産や解雇）による場合 ② 学資支弁者の収入が通常時の3割以上減給・減収となった場合 ※学資支弁者＝主として家計を支えている者
申請方法	・申請書類を学生支援課（紫野キャンパス1号館2階）にて受け取る。 ※郵送を希望する場合は、申請フォームより申込み。 ・「願書」に必要事項を記入し、収入等を証明できる書類を揃えて、期日までに提出。 郵送の場合は、9月30日消印有効。
結果通知	・10月下旬頃に学生本人宛に通知 ※採用者には、12月末付けて給付決定額を授業料の一部として充当。

#### （参考1）収入等を証明できる書類について

経済支援制度や学内奨学金（公募制）の申請には、「願書」の他に、ご家庭の収入状況を確認できる以下の書類提出が必要となります。

##### 1. 所得証明書（原本）

- ・2020（令和2）年の所得証明書〔内容は2019（令和元）年度分の所得記載〕
- ・同一生計の家族（単身赴任含む）で、就学者以外全員分の提出が必要です。なお、申込現在で無職無収入などの理由により提出できない場合は、所得金額「0円」と記載のある「（非）課税証明書」または「所得証明書」を提出ください。

##### 2. 源泉徴収票（控え・コピー）

勤務により所得を受けている方が対象です。パート含む全員（就学者除く）の提出が必要です。

##### 3. 確定申告書（控え・コピー）

給与所得者以外（自営業等）の方が対象です。第一表と第二表両方を提出してください。なお、税務署の受付印、電子申請の場合は、受理日記載のものに限ります。

※上記1～3の書類は、マイナンバーの記載がないもの（ある場合は消して）を提出してください。

《経済支援制度②》

名 称	学資給付金
募集期間	8月20日～9月30日(消印有効)
給付額	授業料相当額の1/2を上限とする
給付対象	・学費の納入が困難な者／通学課程の学部生・大学院生・別科生(休学者を除く)
申込資格	<p>・最短修業年限(休学期間除く)で卒業・修了が可能で修学意欲がある者</p> <p>・在学中の12ヶ月以内に、次の事由により学資支弁に不測の事態が生じ、学費の捻出が著しく困難であると認められた者。</p> <p>① 学資支弁者の死亡または生別による場合</p> <p>② 学資支弁者の失職(主に倒産、解雇)による場合</p> <p>③ 学資支弁者の病気または事故による場合</p> <p>④ 学資支弁者が火災、風水害等の災害にあった場合</p> <p>⑤ 家庭内において病気、傷害等のため高額出費があった場合</p> <p>※学資支弁者=主として家計を支えている者</p>
申請方法	<p>・申請書類を学生支援課(紫野キャンパス1号館2階)にて受け取る。</p> <p>※郵送を希望する場合は、申請フォームより申込み。</p> <p>・「願書」に必要事項を記入し、収入等を証明できる書類を揃えて、期日までに提出。</p> <p>郵送の場合は、9月30日消印有効。</p>
結果通知	<p>・10月下旬頃に学生本人宛に通知</p> <p>※採用者には、12月末付けて給付決定額を授業料の一部として充当。</p>

《経済支援制度③》

名 称	教職員互助会奨学金
募集期間	8月20日～9月30日(消印有効)
給付額	授業料相当額の1/2を上限とする
給付対象	<p>・学費の納入が困難な者</p> <p>・8セメスター在学中の学部生で、2021年3月卒業が可能で修学意欲がある者</p>
申込資格	<p>・大学在籍中に次の事由が生じたことにより授業料等納付が困難と認められる者</p> <p>① 学資支弁者の死亡または生別による場合</p> <p>② 学資支弁者の失職(主に倒産、解雇)による場合</p> <p>③ 学資支弁者の病気または事故による場合</p> <p>④ 学資支弁者が火災、風水害等の災害にあった場合</p> <p>⑤ 家庭内において病気、傷害等のため高額出費があった場合</p> <p>※学資支弁者=主として家計を支えている者</p>
申請方法	<p>・申請書類を学生支援課(紫野キャンパス1号館2階)にて受け取る。</p> <p>※郵送を希望する場合は、申請フォームより申込み。</p> <p>・「願書」に必要事項を記入し、収入等を証明できる書類を揃えて、期日までに提出。</p> <p>郵送の場合は、9月30日消印有効。</p>
結果通知	<p>・10月下旬頃に学生本人宛に通知</p> <p>※採用者には、12月末付けて給付決定額を授業料の一部として充当。</p>

《学内奨学金(公募制①)》

名 称	教育後援会奨学金
募集期間	9月1日～10月26日(消印有効)
給付額	1種(10万円)・2種(20万円) ※困窮度によって1種または2種を決定
給付対象	・学費の納入が困難な者 ・通学課程の学部生・別科生(休学者を除く) ・ <u>春学期採用者は申請不可(年度内の重複支給不可のため)</u>
申込資格	・最短修業年限(休学期間除く)で卒業・修了が可能で修学意欲がある者 ・日本学生支援機構第二種基準額に準じる者
申請方法	・申請書類を学生支援課(紫野キャンパス1号館2階)にて受け取る。 ※郵送を希望する場合は、申請フォームより申込み。 ・「願書」に必要事項を記入し、収入等を証明できる書類を揃えて、期日までに提出。 郵送の場合は、10月26日消印有効。
結果通知	・11月下旬頃に学生本人宛に通知 ※採用者には、12月末付けて給付決定額を授業料の一部として充当。

《学内奨学金(公募制②)》

名 称	同窓会奨学金
募集期間	9月1日～10月26日(消印有効)
給付額	10万円
給付対象	・学費の納入が困難な者 ・通学課程の学部生・大学院生・別科生(休学者を除く)
申込資格	・大学が定める標準単位数を修得し、卒業・修了が可能なる者 ・日本学生支援機構第二種基準額に準じる者
申請方法	・申請書類を学生支援課(紫野キャンパス1号館2階)にて受け取る。 ※郵送を希望する場合は、申請フォームより申込み。 ・「願書」に必要事項を記入し、収入等を証明できる書類を揃えて、期日までに提出。 郵送の場合は、10月26日消印有効。
結果通知	・11月下旬頃に学生本人宛に通知 ※採用者には、12月末付けて給付決定額を授業料の一部として充当。

(参考2) 日本学生支援機構第二種基準額について

【年間の年収・所得の上限額の目安】

(単位:万円)

世帯人数	通学携帯	給与所得者の世帯	給与所得以外の世帯
		第二種	第二種
3人	自 宅	1,063	655
	自宅外	1,110	702
4人	自 宅	1,147	739
	自宅外	1,194	786

※上表以外の上限額の目安については、日本学生支援機構ホームページ ≫ 奨学金 ≫ 申込方法 ≫ 在学採用 ≫ 申込資格・申込基準(シュミレーター)にて確認ください



## 4、卒業所要単位と要件について

卒業には、各種条件を満たしたうえで、124単位以上の単位修得が必要です。  
 (諸資格取得に伴う単位数は除きます)

### 卒業所要単位と要件 (2019年度以降第1学年次入学者)

系列		卒業要件		
全学 共通 科目	仏教	2単位	左の条件を満たして合計30単位以上 ※②	
	自校教育	任意		
	必修外国語	8単位以上		
	選択外国語	任意 (学科により2単位必修)		
	日本語表現	2単位		
	情報処理	2単位以上 ※①		
	キャリア	任意		
	スポーツ	任意		
	日本事情	任意		
	海外研修	任意		
大学コンソーシアム	任意	左の条件を満たして合計124単位以上		
全学 教養 科目	全学教養科目 (基礎領域4単位以上、応用領域4単位以上)		8単位以上	
専 門 科 目	学部基幹		学科ごとに設定	94単位以上 ※③
	学科基礎		学科ごとに設定	
	学科専攻		学科ごとに設定	
	関連科目		学科ごとに設定	

入学年度・所属学部・学科により系列が若干異なります。  
 ※① 保健医療技術学部は任意 ※② 保健医療技術学部は20単位  
 ※③ 保健医療技術学部のみ、学部基幹 + 学科基礎 + 学科専攻 + 関連科目 = 104単位以上

### 卒業所要単位と要件 (2018年度以前第1学年次入学者)

系列		卒業要件	
全学 共通 科目	仏教	4単位	左の条件を満たして合計30単位以上
	自校教育	任意	
	必修外国語	8単位以上	
	選択外国語	任意 (学科により2単位必修)	
	リテラシー	1単位以上	
	キャリア	任意	
	スポーツ	任意	
	総合	任意	
	日本事情	任意	
専 門 科 目	専門基礎 (人文、教育、社会、福祉、自然、健康、保健医療)	6単位以上	左の条件を満たして合計124単位以上
	学部基幹	学科ごとに設定	
	学科基礎	学科ごとに設定	
	コース科目 または 学科専攻	学科ごとに設定	
	発展科目	任意	

入学年度・所属学部・学科により系列が若干異なります。  
 ※ 保健医療技術学部のみ、学部基幹 + 学科基礎 + 学科専攻 + 発展科目 = 94単位以上

## 5、成績について

成績の判定は、シラバスに記載された成績評価の基準に基づいて行われます。

### 成績

#### ◆成績

- 成績の判定は、シラバスに記載された成績評価の基準（出席状態、授業態度、試験等の結果）に基づいて行われます。
- 評価は「S、A、B、C、Dの5段階（2019年度以降第1学年次入学者）」「A、B、C、Dの4段階（2018年度以前第1学年次入学者）」の評価とし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格となります。また、Xは未受験、Nは評価対象外（出席不足等）となります。

【2019年度以降第1学年次入学者】

点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下	未受験	評価対象外 (出席不足等)	認定
成績通知書の表示	S	A	B	C	D	X	N	認定
成績証明書の表示	S	A	B	C	表示されない			認定
判定	合格				不合格			合格

【2018年度以前第1学年次入学者】

点数	100～80	79～70	69～60	59以下	未受験	評価対象外 (出席不足等)	認定
成績通知書の表示	A	B	C	D	X	N	認定
成績証明書の表示	A	B	C	表示されない			認定
判定	合格			不合格			合格

※「成績通知書」は保証人宛に年2回（9月下旬・3月下旬）郵送にてお届けいたします。

※ 学生への成績通知は、学生ポータルサイト「B-net」でおこなっています。

※「成績証明書」は就職や進学等への提出に使用するもので、「成績証明書」には合格科目と評価（S、A、B、C）または（A、B、C）のみの記載となります。

不合格科目と評価（D、X、N）は記載されません。

## 6、学生ポータルサイト(B-net)について

学生の皆さんは、インターネットを利用し、必要な情報を確認することができます。

### 学生ポータルサイト (B-net) の利用

The screenshot shows the B-net student portal interface. At the top, there are navigation tabs numbered 1 through 7: 1. 履修登録, 2. 授業情報, 3. 試験情報, 4. 成績情報, 5. 学籍/申請/面談, 6. アンケート, 7. その他. Below the tabs is a grid of service categories:

- ①履修登録**: 履修登録について, ECU 教育実習申請, EUC 学生実習届出, 教職実習講習等への参加について, 抽選希望登録★, 希望定格登録★, 履修登録★
- ②授業情報**: 学生時間割表, 授業時間割表, 教員時間割表, シラバス開示, 出欠状況確認, 緊急時における授業, 試験の取り扱い※, 授業欠席届
- ③試験情報**: 定期試験注意事項※, 試験時間割表★, リポート提出票
- ④成績情報**: 成績開示, 卒業見込判定, 免許・資格取得見込判定
- ⑤学籍/申請/面談**: 学籍情報開示, 学籍情報変更申請, Web 申請登録, 面談予約, セミナー・講座申込
- ⑥アンケート**: アンケート回答, 授業アンケート
- ⑦その他**: 履修事項, 学則・規程集※, 災害時がけふく※

※印は本学ホームページ等、B-net 以外のページに移動します。  
★印は当該期間のみメニューが表示されます。

（注意）学部生1～3年生は、【卒業見込判定】表示はありません。

大学院生は【抽選希望登録】【卒業見込判定】【免許・資格取得見込判定】表示はありません。

- ◆ 学生はインターネットを利用し、自身に必要な情報を確認することができます。また、大学側が周知したい内容や個別に連絡したい内容をB-netを利用して学生へ連絡を行います。

## 7. 保護者の皆さまへ 相談窓口のお知らせとお願い

佛教大学では、新型コロナウイルス感染症への対応が求められるなか、充実した学生生活を送ることができるような環境づくり、学生支援に全力で取り組んでまいりました。

しかし、春学期は対面授業を取りやめ、遠隔授業を行なったこともあり、慣れない環境での学生生活に不安を感じたり、順調に学修を進めることが出来なかったと聞き及んでおります。

通常であれば友人や教員、事務局に相談することも可能ですが、このような状況のなかではそれも叶わず、うまくいかないのは自分に非があると感じてしまうこともあるようです。従来よりも大学や友人とのつながりが少なくなっており、この点、保護者の皆さまからも、より一層の見守りをお願いいたします。

保護者の皆さまのお手元には、年に2回(9月下旬・3月下旬)成績通知書をお届けいたします。遠隔授業というかたちであっても、大学としての学びを得ることができるような授業を進めてまいりました。今回、成績をご覧になって、今後の授業への取り組みや、将来への不安などをお感じになることもあるかもしれませんが、どうか学生がひとりで思い悩むことがないよう暖かい目で見守っていただき、ご不安な点などは下記相談窓口へ連絡いただきますようお願いいたします。教員とも密接に連携を取りながら、学生の支援をおこなってまいります。

学生がこころに不調を感じた場合は、カウンセラーを配置した学生相談センターも設置しておりますので、あわせてご相談ください。

佛教大学では、どのような状況にあっても、学びと学生生活を提供していくために鋭意努力してまいります。


この困難な状況のなか、学生がよりよい学びを継続していくために、保護者の、皆さまのご協力をお願いいたします。

学生生活・履修に関する相談窓口

佛教大学 学生支援課

電話 075-493-9009(総合相談窓口)  
平日 9:00~13:00 14:00~17:00(土日祝除く)

メール [qa-gakusei@bukkyo-u.ac.jp](mailto:qa-gakusei@bukkyo-u.ac.jp)



# 就職をとりまく状況 と就職に関する支援 について

学生支援部 進路就職課

## 保護者のみなさまへ

進路就職課は、どのような状況におかれてもたくましく生きていけるよう学生の成長を支援し、社会に送り出したいと考えております。

本来なら、学生の皆さんにも進路就職課を利用してもらい、直接対面にて学生のみなさんのそれぞれの事情に沿った指導や支援をしたいところではありますが、今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響で、その当たり前のことが叶わぬこととなっています。

また、保護者のみなさまとも直接お会いし、現在の就職をとりまく状況やお子様の状況を共有したり、心配事をお伺いすることにより、協力しながらサポートしていくことが望ましいと考えておりますが、それもできない状況であります。

別添の『保護者のための就活作法2020』は、就職に関する状況や我々の行っている支援について知っていただきたい、また、保護者のみなさまの就職活動をされるお子様との関わり方の参考になればという思いで、教育後援会からの補助をいただきながら、毎年作成しております。この冊子と、あわせてこちらの紙面をもって現在の状況について補足説明をさせていただきます。

新型コロナウイルスによる制限がなくなった折には、ぜひお子様に進路就職課を活用していただくようにお伝えください。保護者のみなさまにおかれましても、今後、教育懇談会が開催されることになりました折には足をお運びいただくなどして、不安を解消していただけると幸いです。

# 就職に関する状況の変化

<2020年卒>

本学就職率:97.2%(前年度96.8% 0.4%増)

※就職率等の詳細については、『保護者のための就活作法2020』P13~をご確認ください。

※就職活動の一般的なスケジュールについては、『保護者のための就活作法2020』P6をご確認ください。

- ・インターンシップ参加率:79.9%
- ・インターンシップに参加した業界への入社予定率:69.1%
- ・一人当たりのエントリー社数:17.3社
- ・大学卒業者求人倍率:1.83倍
- ・企業の採用予定数未充足率:53.4%

<就職みらい研究所『就職白書2020』マイナビ『2020年卒 内定者意識調査』より>

いわゆる売り手市場。就職活動の準備段階に費やす時間も減(就職に関連するセミナーやイベントの参加率の低下。就職NAVIサイトの登録率の低下)。→この状況は、2021年卒(現4年生)についても同様。現4年生は、先輩から「苦勞しなくても就職できる」と聞いていたはず。

→新型コロナウイルスの影響でどうなったか???

## 就職に関する状況の変化(新型コロナウイルスの影響により)

新型コロナウイルスの影響でどうなったか???

<2021年卒(4年生)の学生状況①(中間報告)>

- ・3月以降のNAVI会社や大学内で行われる大規模な合同企業説明会→開催中止
- ・企業の単独説明会→開催中止、オンライン開催
- ・採用試験→中止、中断、オンラインで実施
- ・就職活動のスケジュールがオリンピックの影響等も考慮し早まる→中断により長期化
- ・就職相談→大学に行けない。外部の支援機関(ハローワークなど)も中止  
→オンラインで相談
- ・面接指導、提出書類の添削など→オンライン、メール利用

※オンライン対応ができていない。いや、そもそも就職活動の準備ができていないのか?

## 就職に関する状況の変化 (新型コロナウイルスの影響により)

そもそも就職活動の準備ができていないというけれど・・・  
早くから活動していた人もいる。

<2021年卒(4年生)の学生状況②(中間報告)>

- ・2019年(3年時)11月時点のインターンシップ参加率:84.9%(昨年より上昇)
- ・2020年1月時点での本選考参加率:35.2%(前倒し。3月の解禁より早い)
- ・2020年3月末時点での内定率:31.3%(前倒し。過去最高)

<就職みらい研究所『就職白書2020』ディスコ『キャリアスリサーチ』より>

それでは、採用側は・・・

## 就職に関する状況の変化 (新型コロナウイルスの影響により)

採用側は・・・

<2021年卒の採用状況(中間報告)>

### ・採用活動の中断・スケジュールの見直し

インターンシップがスタートと考える企業多し。オリンピック・パラリンピックを考慮し、早期の内定(内々定)出しを予定。5月までの内定出しを78.9%が予定していた。

【参考】就職内定率:31.3%(4/1現在・緊急事態宣言前。昨年度同時点21.5%)  
56.9%(6/1現在・緊急事態宣言後。昨年度同時点70.3%)

### ・選考方法の変更

筆記試験のWEB化やオンラインでの面接や説明会を実施。試験内容を変更(グループディスカッションをなくすなど)するなど感染防止策を講じながらの選考試験。選考試験のオンライン化は大企業ほど早く対応。

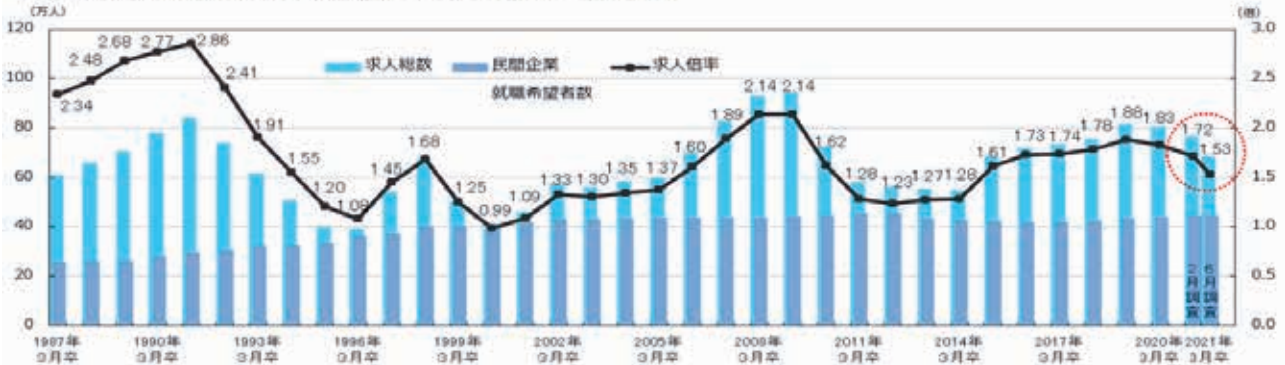
### ・採用計画の見直し

業績の悪化や見通しの不透明さから採用を見送る企業も。また、合同企業説明会等が開催されず、母集団の形成が難しいため採用数を減らすところも。

# 就職に関する状況の変化

<参考資料>

■ 求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



- (1) 大卒求人倍率 1.53倍  
※前年の1.83倍からコロナ禍の影響を受けて0.30ポイント低下
- (2) 従業員数300人未満の企業の求人倍率 3.40倍  
※前年の8.62倍から5.22ポイントの大幅低下  
従業員数1000人未満(300人未満を含む)の企業の求人倍率 1.94倍  
※前年の3.34倍から1.40ポイントの大幅低下
- (3) 建設業の求人倍率 6.01倍  
※前年の9.55倍から3.54ポイントの大幅低下  
流通業の求人倍率 7.28倍  
※前年の12.57倍から5.29ポイントの大幅低下

バブル崩壊(0.45ポイント低下)やリーマンショック(0.52ポイント低下)に比べると、落ち込み幅は小さいと言えます。

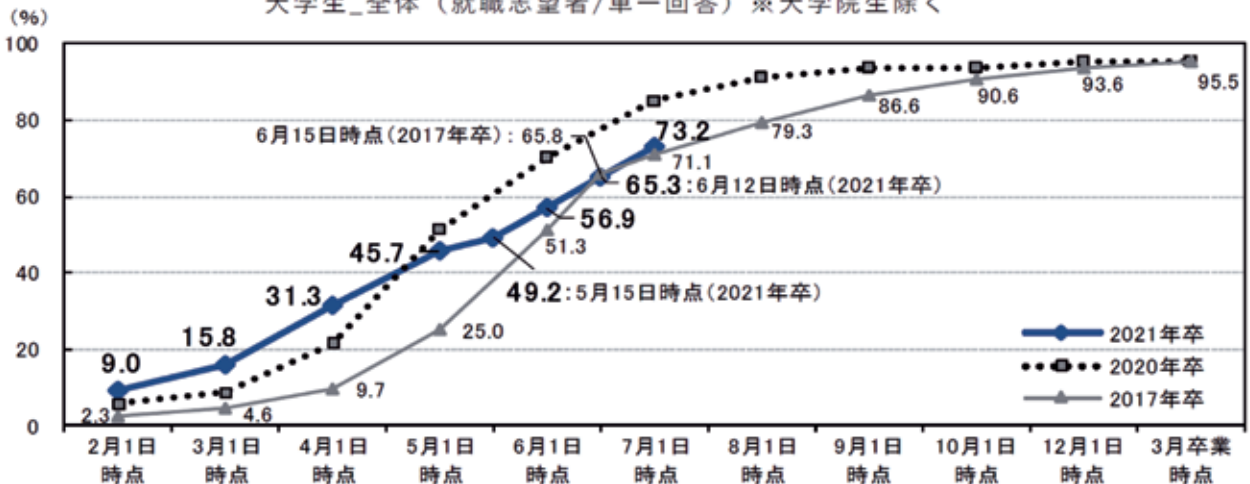
<リクルートワークス研究所より>

# 就職に関する状況の変化

<参考資料>

## 就職内定率

大学生\_全体 (就職志望者/単一回答) ※大学院生除く



※グラフには21卒、現行の採用スケジュールが開始された17卒の数値を掲載。

4/1時点までは過去最高。緊急事態宣言後、採用活動が中断となり、減少となった。年内には2020年卒並みに戻る見通し

<就職みらい研究所より>

# 就職に関する状況

## <教員>

### ■教師として求められる人材と資質能力

- ①教職に対する強い情熱
- ②教育の専門家として確かな力量
- ③総合的な人間力

※各教育委員会「教員等の資質能力の向上に関する指標」に示される“ステージ0”の姿が採用時に求められる  
※教育現場を知ること重要。(学校ボランティア、インターンシップ、各教育委員会主催教師塾などへの参加)

### ■最近の採用試験の動向

- ①面接・論文・実技試験などの人物を評価する試験の比重増

※面接試験は全ての自治体で導入され、多くは異なる形式で複数実施  
※今年度は試験内容が変更された自治体も多かった。

- ②加点導入(小学校区分での英語加点、特別支援学校教諭免許所持による加点、学校図書館司書教諭資格所持による加点等)  
※実体験により現場を知ること、早期からの筆記試験対策等重要

### ■今後の予測

- ①採用数の減少(少子化、大量退職時期の終了と教員の充足、定年後の再雇用等)  
※都市部より減少の傾向になりつつある

- ②新型コロナウイルスの影響で民間の業績悪化→教員志望者増える傾向。倍率アップする？

支援:教員ガイダンスの実施/学内筆記対策講座(有料)実施/面接対策、模擬授業対策/キャリア・アドバイザーによる就職相談、指導など

# 就職に関する状況

## <公務員>

### ■公務員人気の動向

民間の求人が好調→新型コロナウイルスの影響で悪化(大卒者の求人倍率1.83→1.53)  
景気が悪くなると公務員人気は高くなると予想される。  
(1,2年生早目の準備が必要)  
今年に関しては、試験時期の変更。試験内容の変更等あり。

### ■公務員として求められる人材と資質能力

国家公務員=スペシャリスト。専門性。学力重視  
地方公務員=ゼネラリスト。コミュニケーション力重視  
新しい環境でもすぐになじめるか。ストレス耐性があるか。  
社会貢献に対する意識と意欲、実践力

### ■最近の採用試験の動向

- ①試験倍率は、地方により差はあるが、概ね減少傾向であった。(今年は上昇?)  
問題提供:公益財団法人 日本人事試験研究センター
- ②エントリーシートやSPI・SCOAを課す自治体が増加。幅広い人材の確保のため。
- ③人物に特化した試験形式が増加(人柄・熱意・能力を確認)

※博物館学芸員や図書館司書は公務員としての採用がほとんど。しかし、公務員試験対策のできていない学生が多い。

支援:公務員就職ガイダンスの実施/学内公務員試験対策講座(有料)/キャリア・アドバイザーによる面接指導、出願書類添削/学内公務員研究会の実施など



# 就職に関する状況

## <福祉・医療>

### ■福祉・保育分野

- ①福祉行政職や、公立の保育士は各自治体の採用試験  
スケジュールを確認→公務員試験の対策必要
- ②福祉法人も一般企業のスケジュールに合わせて全体的に採用活動が早まっている。  
※施設見学等可能な施設が多い。設定されている日程以外でも可能な場合が多い。  
採用試験日程以外でも可能など多い。今年は新型コロナウイルスの影響で見学等できなかった。加えて、採用選考もオンラインで実施されるところも多く、学生たちが大事にする職場の雰囲気を見せてもらうことができない。  
※厳しい現場のイメージ→処遇改善、休日の増加など対応。キャリアプランも明確に。  
※特別な資格がなくても、入職後の資格取得でよいケースがほとんど。

### ■保健医療分野

- ①病院見学会やインターンシップの実施
  - ②病院独自の奨学金制度による早期就職先の決定
  - ③国公立系医療機関の採用試験の早期化
  - ④看護職の採用試験早期化
- ※志望動機等明確でないことが理由で落とされるケースが増えてきている。その職に何故つきたいかだけでなく、何故その病院か、施設かが明確でなければいけない。  
※今年に関しては、見学やインターンシップ等受け入れがないところがほとんど。オンラインで対応されている。

支援: 専門職セミナー、ガイダンスの実施/キャリア・アドバイザーによる面接指導、出願書類添削/学内合同就職説明会の実施/学内公務員試験対策講座(有料)など

# 本学の就職に関する支援事業

## ■ キャリア・アドバイザー 〈8名〉

- ⇒ 2019年度 面談件数 延べ 3,404件  
月～金:1日2名ないしは3名体制。教員面談や公務員面談も実施。  
大阪梅田、四条センターでも実施。(4/20よりZoomによるWEB面談も実施)  
履歴書の添削、面接練習など。「B-net」より申し込みが必要。

## ■ 「求人NAVIシステム」

- ⇒ 2021年卒対象求人実績 12,395社(2020.8.20現在)  
\*昨年度 15,168社(最終)

※外部のナビサイトとの大きな相違点は、無料で掲載していること。本学の学生に対しての求人であること。

## ■ 就職支援冊子

- 「キャリアガイドブック」「資格・講座案内ガイド」「就職のてびき」  
「MY FIRST CAREER BOOK」(「B-net」にも掲載)

## ■ 就職支援講座・資格検定講座

学内で安価にて開講。(90%以上の講座をオンライン開講で対応)

# 本学の就職に関する支援事業

<2020年度>

- 2021年卒対象オンライン学内事業所説明会の実施(理学療法学科・作業療法学科4年生対象)
- 2021年卒対象オンライン学内企業説明会の実施(4年生対象)  
8/20~9/10に開催
- 学内業界研究会・公務員研究会の実施(3年生以下対象)  
12月に実施予定
- 学内合同企業研究会の実施(3年生対象)  
2月に開催予定
- ガイダンス・セミナーの実施(全学年対象)  
年間実施数200以上 (今年度はオンラインで実施も)

その他の有効的な取り組み

- インターンシップ科目の受講  
本学のキャリア科目「インターンシップ」・・・2年生からの受講可能  
事前研修で、社会人としての基礎知識を学んだうえで、10日間の実務研修。事後研修で研修を振り返り、成果を実感する。  
※教育職インターンシップ科目あり
- その他 大学生活の充実のために  
・授業の大切さ・社会経験・年齢の異なる人との交流・ボランティア活動・クラブ活動・アルバイト など  
↓  
「大学の時に最も力を注いだこと(いわゆる「ガクチカ」)」は、採用試験で問われる項目。「大学時代に何を経験したか」「何が成長したか」を自己認識し、自分の言葉で話せる内容を増やしていく。  
※コロナ禍で何を学び、どう成長するか。

## 今後予想されること

### ■ インターンシップへの参加がますます重要

- ・企業側は新型コロナウイルスの状況により、大型の説明会の開催ができない。母集団を増やす機会がない。  
インターンシップ参加者を採用母集団としてアプローチしたい。
- ・新型コロナウイルスの影響により、インターンシップの実施に限りが出てくる。対面で実施できない。  
実施回数を減らすなど。→インターンシップに参加することが難関に。
- ・参加する学生は早期からの企業研究、業界研究が進むことで、社会人として足りないことに気が付ける。  
就職活動の大きなきっかけとなる。

### ■ オンライン採用活動(選考)の一般化

- ・今後は、WEBでの説明会、面接等が一般化することが予想される。  
(2022年卒の採用においてWEB説明会・面接の割合を増やす企業27.4%)  
※筆記試験のWEB化(対策はSPI,テストセンターだけではない)  
※パソコン、ネット環境の整備(途中で中断することがないように)、映り方や背景・明るさなどあらかじめ準備が重要。  
※WEB面接であっても見られている観点は対面と同じ。  
※自信をもって面接に臨むことが重要。人柄は対面より伝わりにくい傾向にある。  
※交通費、リクルートスーツなどの出費は押さえられるが、WEB環境に出費が予想される。  
※遠方に行くなどの時間は短縮される。

### ■ 売り手市場の終了

- ・就活生が優位な状況ではなくなる可能性が高い。2021年卒求人倍率1.53倍。2022年卒は下がるのが予測される。  
→早期から、計画的に就職活動する意識、対策が必要。(自己分析、企業研究など)

## ～最後に～保護者のみなさまへのお願い

保護者のみなさまが就職活動をされていた頃とは、状況はずいぶん変わっています。試験内容や面接で問われる力も変わってきています。自己実現のために、就業に関する考え方も変化しています。過干渉や過保護になることなく、社会人の先輩として、保護者として適切なアドバイスをしてあげてください。

「あんな会社はダメ」×→ご心配であれば、「その会社の将来性はどう?」「あなたの希望する働き方ができる?」というように押しつけではなく、学生自身で考えられるようにサポートをしてあげてください。

「自分に長所などない」と思っているのであれば、小さいころから成長を見てこられた保護者の立場から頑張った経験や、成長した面を思い出させるように話をしてあげてください。

また、就職活動は何かと費用がかかります。経済面でのサポートも学生にとっては安心材料となります。

コロナ禍で、働くことの意義を見出せない学生もいるかもしれません。社会人の先輩として、社会に貢献すること、社会の一員となって働くことのすばらしさを伝えてあげてください。

求人倍率が低下することが予想はされますが、8月20日現在、多くの企業から本学へ求人情報をいただいています。不安になることなく、自己を知り、社会を知り、仕事を知ることで就職活動は充実したものになるでしょう。

保護者のみなさまにしかできない あたたかなサポートをお願いします。

## ～進路就職課電話相談会のお知らせ～

進路就職課では、以下の日程で保護者のみなさまと電話で直接お話しする機会を設けます。  
お電話でのご相談をぜひご利用ください。

### <開催日程>

10月 3日(土)	10:00~12:00	13:30~16:30
10月25日(日)	10:00~12:00	13:30~16:30

上記時間内に、まずはお電話ください。

進路就職課直通電話番号:075-493-9058



## 個別相談のお申し込みについて

例年、教育懇談会で行っております個別相談につきまして、今回はWEBによる受付とさせていただきます。お子様の履修・就職・進学・大学生活などについての個別相談を希望される方は、次の通りお申し込みください。

### お申し込みにあたって

- 1回の申込みにつき一つの相談に限らせていただきます。複数の相談をご希望の場合は、それぞれお申し込み手続きをしてください。
- 「相談事項の詳細」は具体的に記入してください。
- 本学からの回答に日数を要する場合があります。
- 本学からのメール「@bukkyo-u.ac.jp」が受信できるように設定してください。

申込受付期間      9月23日(水)～10月23日(金)

### お申し込み方法

佛教大学トップページ(<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>)より次の通り選択いただき、「申込画面」に従い、必要事項を入力の上送信してください。

保護者の方へ ⇒ 在学生の保護者の方へ ⇒  
教育後援会 ⇒ 教育懇談会 ⇒ 「個別相談申込フォーム」

※申込完了後、登録いただきましたメールアドレスへ申込受理メールをお送りいたします。  
※いただいた個人情報は、ご質問に関する回答のために利用し、それ以外の目的での利用はいたしません。また、無断で第三者に情報を提供することはありません。

※進路就職課へのご相談については、19ページの電話相談会もご利用ください。

事務局  
佛教大学校友会事務局  
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
TEL:075-491-2141(大学代表)      FAX:075-495-2159